

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-10-01

No. 124

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-11:2020 Ed. 3.0 (2020-01) – 電圧ディップ等イミュニティ試験(1/2)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 車両規制の調和のための世界フォーラム第 181 回が、オンラインで開催(2/3)	10
国際テーマ: 欧州における有害物質に関する消費者製品の確認計画	12
国際テーマ: 欧州のサイバーセキュリティ認証に関する状況	12
国際テーマ: コンゴ (DRC) における新しい通信規制	13
国際テーマ: タイで家庭用及びこれに類する用途のプラグ及びコンセントの規格が強制か	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14

USA: FCC: KDB: TCB が機器認可する前に FCC のガイダンスが必要なデバイス?	15
USA: FCC: ローデ・シュワルツ USA からの適用免除要請に関する命令	15
USA: FCC: OET がテスラ社の適用免除要請に関して 2020/8/20 にコメントを募集 - 公告	16
USA: CPSC: 携帯発電機による一酸化炭素中毒の危険性に対処した取り組み文書	17
USA: NRTL: 17025 明確化に関する覚書(2020 年 8 月 25 日): 2005 年版、又は 2017 年版	17
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	18
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	19
USA: IEEE: 新規格リスト	20
カナダ: ICES-001, 産業、科学および医療 (ISM) 機器 第 5 版が発行	21
カナダ: ICES-002, トラクションバッテリー等を搭載した車両、ボート、その他のデバイス	21

EU, UK: 2021 年 1 月 1 日からの UKCA マークの使用についてのガイダンス (1/2)	24
EU, UK: 2021 年 1 月 1 日以降の医療機器規制についてのガイダンス	26
EU: 電磁両立性指令 2014/30 / EU(EMCD) の評価に関する研究: 対象を絞った協議	28
EU: 低電圧指令 LVD の整合規格サマリーリスト公開: 新委員会実施決定 2020/1146 を反映	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	29
EU: ETSI: 新規格リスト	32
オーストラリア: ACMA: 低妨害可能性デバイスに対する新しいアレンジメント	34

中国: SAMR: エネルギー資源計量サービス模範活動に関する市場監督管理総局事務室通知	34
中国: CNCA: 強制製品認証を実施する機関の審査業務の全面的なオンライン化に関する通知	35
中国: CNCA: 5G モバイルユーザー端末の強制製品認証の要件に関する認监委公告	36
中国: CQC: 太陽電池モジュール用部品の認証項目要件の変更に関する通知	36
中国: 新規格リスト	37
台湾: 新規格リスト	37
韓国: RRA: 電磁両立性の基準の一部改正 (案) 行政予告	37
韓国: KATS: KC (安全) 認証に関し、電気用品と生活用品安全管理運用要領を改訂	38

総務省: 電波法施行規則の一部を改正する省令案に関する意見募集: 基準不適合設備対応	39
総務省: L 帯を用いた高度化非静止衛星システムの導入: 電波監理審議会からの答申	39
総務省: デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る制度整備	40
総務省: ローカル 5G の周波数拡張等に伴う制度整備 – 電波法施行規則等の一部を改正	40
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2020 年 9 月分)	41
経済産業省: 国際規格発行: ECHONET Lite 関連、災害時の都市サービス継続関連	42
経済産業省: 国際規格案の審議開始: 生体認証精度評価方法、ロボットサービスの安全運用	42
経済産業省 国土交通省: 第 1 回 洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会作業部会	43
国土交通省: UNECE: 二輪自動車の灯火器等の取付けに関する国際基準 (第 53 号) を導入	44
国土交通省: 改正建築物省エネ法が令和 3 年 4 月 1 日から施行されます	44

ちょっといっぷく~小クイズコーナー IEC 60335-1 第 6 版の新規要求事項について	14
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	23
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-11:2020 Ed. 3.0 (2020-01) - 電圧ディップ等 イミュニティ試験(1/2)

- 「IEC 61000-4-11:2020 Ed. 3.0 (2020-01) 電磁両立性 (EMC) - パート 4-11 : 試験および測定技術-入力電流がフェーズあたり最大 16 A の機器の電圧ディップ、短時間停電、および電圧変動イミュニティ試験」が、発行された。
- 本第 3 版は、2020-01 付で発行された。2004 年に発行された第 2 版と、修正 1 : 2017 をキャンセルし、置き換える。本版は技術的な改訂からなる。従来からの試験を変える内容でなく、解説の追加、注意事項の追加、及び誤りの訂正である。その後、本第 3 版への誤り訂正 Corrigendum 1 (2020-05-28)が、発行された。その内容も、紹介する。
- 第 3 項(用語と定義)、第 4 項 (一般的事項)、及び第 5 項 (試験レベル) で変更があった。

UNECE: 車両規制の調和のための世界フォーラム第 181 回が、オンライン で開催(2/3)

- 車両規制の調和のための世界フォーラム第 181 回(ジュネーブ、2020 年 6 月 24 日)が、オンラインで開催された。
- 「XIII. 既存の規制の修正と正誤表、および新しい規制の提案- AC.1 による投票」では、以下に示す既存の規制の修正と、新 UN 規制が投票により承認された。
特に次の新 UN 規制は、注目される：
全世界軽車両整合化試験手順、サイバーセキュリティ、ソフトウェアアップデート、自動レーンキープに関する規制

USA: FCC: KDB: TCB が機器認可する前に FCC のガイダンスが必要なデ バイスは？

- TCB が機器認可交付証を発行する前に FCC のガイダンスが必要なデバイスは？また、そのガイダンスを入手する方法は？
回答：添付の文書は、以前にパーミットバットアスク (Permit But Ask (PBA)) 手続きとして知られていた事前承認ガイダンス (PAG) 手続き (セクション 2.964) に関するガイダンスである。

EU, UK: 2021 年 1 月 1 日からの UKCA マークの使用についてのガイダ ンス(1/2)

- UKCA (UK の要求事項への適合性が評価済み を意味する)マークは、グレートブリテン (イングランド、ウェールズ、スコットランド) で市販される商品に使用する、UK の新しい製品マークである。以前に CE マークが要求されていたほとんどの商品が対象となる。北アイルランドの市場に出される商品については、UKCA マークだけを使用することはできない。CE マーク又は UK(NI)マークが必要である。

経済産業省: 国際規格発行: ECHONET Lite 関連、災害時の都市サービス 継続関連

- 日本発の国際規格発行
 1. ECHONET Lite のアプリケーション通信インターフェース (AIF) 仕様に関する国際規格が発行された — 家庭用エアコンと HEMS コントローラの相互接続性向上を目指して—
 2. 災害時の都市サービス継続に関する国際規格が発行された — 災害時の電力供給停止がもたらす影響を最小限に—

社長の独り言

2020年9月20日

濱口 慶一

猛暑という言葉では足りないくらいの今年の夏もようやく終わり、少し涼しくなり始めましたが、皆様も変わりなくお過ごしでしょうか？

コロナ禍は安心できるレベルに全く落ち着いてはいませんし、どの店に行ってもマスクの着用を求められています。これからインフルエンザが懸念される季節になりますが、マスク着用を継続することでインフルエンザへの感染も抑えられるのではと思います。新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザにも十分ご注意ください。ありがたいことに、弊社の方は社員およびそのご家族など皆様方のご協力により感染防止策が完璧なこともあり、感染の被害もなく現在に至っています。どうしても新製品の認証を早期に取得して市場に出荷したいと希望されるお客様も多く、感染防止に十分配慮し、立会い試験などを実施しています。

認証機関ならびに試験所として業務を遂行する要員への力量要求が年々厳しくなりつつある中、これに対応すべく弊社では要員の教育の充実に取り組んでいます。また、要員の力量向上は弊社が提供する成果物の品質をより高め、お客様からの高い信頼につながるものと考えています。試験に使用した治具が適正かつ校正期限内であることを確認できるのはもちろん、試験担当者、技術担当者の資格・経験、合否判断の根拠が試験レポート等において一目で確認できることを、私は試験レポート等の「トレーサビリティ」と表現していますが、弊社の成果物の高トレーサビリティが確立できるよう、品質保証部長と話し合いながら関係社員と日々改善を続けているところです。

製品の設計・開発経験を経てこの業界に入ってから、海外の各機関の認証プロセス、製品安全の考え方、認証取得申請のテクニックなど、様々なことを学び、自分の経験や知識を基に技術アドバイスをお客様に提供してきました。それは製品を設計・開発した経験をベースに製品安全評価業界に入った人が当時は非常に少なかったために、単に規格書を良く理解するだけでなく、規格の中の規定を効果的に利用してお客様の製品に取り入れていただくことで競合相手との差別化ができたと気づいたからです。ただ、認証機関、認定試験所としての活動が始まると、そのような技術指導は弊社が認証機関または認定試験所として行う製品の認証や試験の業務においてはコンサルタント業務にあたるとされたために控えてこざるを得ませんでした。しかし、規格への対応方法（公知の事実や一般に公開されている方法）の提示や規格の解釈について説明することは問題ないとされています。日本の業界のために再度、規格解釈の説明や一般に公開されている安全防護技術の紹介といった形で私の知識と経験をお客様に伝えることができればと願う次第です。

さて、趣味の日本蜜蜂養蜂の件ですが、毎年恒例のオオスズメバチの襲来が始まりました。これまでは網で捕獲して足で潰してきたのですが、今年は止めました。昨年刺されたので、例のアナフィラキシーショックで死に至ることがないように、ただ見ているだけにしています。細い糸で作られた防虫網の二重化でもかなり効果があります。インターネットで調べると、皆さんは色々な対策をしているようです。9V乾電池を8個直列に接続して巣門の近くに電極を設け、オオスズメバチが触れると電撃が走るようにすると見事に感電して落ちるのです。しかし、死ぬことはなく無事に(?)巣に戻っていきます。オオスズメバチの体内にはワイン作りで大切な酵母菌が宿っているようで、絶滅すると大切な自然界の釣り合いを崩すことになるようです。

季節の変わり目の気温の変化で、皆様が、体調を崩されませんよう希望いたします。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-10-01 (No. 124)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。